

地域・在宅看護論概論Ⅱ

対応 DP: I

履修年次: 1 年次後期 単位数: 1 単位 時間数: 30 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: 地域の生活 老人クラブ 介護保険サービス ケアマネジメント 家族看護

学習目的: 地域で生活するさまざまな年代・健康状態の人々が、健康的な生活をめざし、制度やサービスを活用するための基礎的知識を習得する。

到達目標:

1. 地域・在宅看護における対象の多様性を知る
2. 地域における健康な高齢者の生活を知る
3. 生活を支援するための社会資源とその活用方法を理解する
4. 意思決定支援を前提とするケアマネジメントの機能と考え方を理解する
5. 地域における家族アセスメントの意義と内容を理解する

授業内容:

- 第1回 地域で生活するさまざまな人々
- 第2回 地域における人々の生活と QOL
- 第3・4回 健康な高齢者の生活①② 老人クラブ参加
- 第5回 健康な高齢者の生活③ 発表
- 第6回 地域の高齢者を支える介護保険サービス①
- 第7回 地域の高齢者を支える介護保険サービス②
- 第8回 在宅における住環境整備
- 第9回 ケアマネジメントと多職種連携
- 第10回 地域のくらしを支えるケアマネジメント①
- 第11回 地域のくらしを支えるケアマネジメント②
- 第12回 地域のくらしを支えるケアマネジメント③
- 第13回 地域・在宅における家族看護① «外部講師»
- 第14回 地域・在宅における家族看護② «外部講師»
- 第15回 まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(2) 地域・在宅看護の実践 医学書院

評価方法: 筆記試験 80点 レポート20点

地域・在宅看護援助論 I

対応 DP: 4

履修年次: 2年次前期 単位数: 1単位 時間数: 30時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: 入退院支援 訪問看護 看護過程 多職種連携 意思決定支援

学習目的: 地域での生活を支えるさまざまな場所での看護の機能と役割を知り、その展開方法についての基礎的知識を習得する。

到達目標: 1. 地域におけるさまざまな看護の役割を理解する  
2. 地域・在宅看護の展開方法を理解する  
3. 地域での生活を支えるために必要な多職種連携や継続看護について理解する

授業内容:

- 第1回 地域におけるさまざまな場での看護
- 第2回 継続看護と入退院支援
- 第3回 外来看護の実際 <<外部講師>>
- 第4回 入退院支援部門での看護の実際 <<外部講師>>
- 第5回 MSWの機能と看護との連携 <<外部講師>>
- 第6回 訪問看護の機能と制度
- 第7回 訪問看護の実際 <<外部講師>>
- 第8回 地域における精神障害を持つ人への看護の実際 <<外部講師>>
- 第9回 地域・在宅看護過程の特徴
- 第10回 地域・在宅看護過程①
- 第11回 地域・在宅看護過程②
- 第12回 地域・在宅看護過程③
- 第13回 地域・在宅看護過程④
- 第14回 地域・在宅看護過程⑤
- 第15回 まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤 医学書院  
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(2) 地域・在宅看護の実践 医学書院

評価方法: 筆記試験 100点

地域・在宅看護援助論Ⅱ

対応 DP: 4

履修年次: 2年次後期 単位数: 2単位 時間数: 30時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)

Keywords: リスクマネジメント 浣腸 摘便 シャワー浴介助 経管栄養 HOT 多職種連携

学習目的: 地域・在宅看護実践における基本的援助技術を習得する。

- 到達目標:
1. 地域・在宅で求められる基本的援助技術を理解する
  2. 地域・在宅におけるリスクマネジメントの視点と特徴を理解する
  3. 地域・在宅において多職種と協働して看護を実践する方法を理解する

授業内容:

第1回	家庭訪問技術と地域・在宅における日常生活援助
第2回	地域・在宅におけるリスクマネジメント
第3回	要介護高齢者ケアと虐待防止
第4回	呼吸の援助(HOT・NPPV・HMV)
第5回	排泄援助(浣腸・摘便)
第6回	浣腸・摘便・シャワー浴介助の計画立案
第7・8回	浣腸・摘便・シャワー浴介助①②【演習】
第9回	褥瘡管理
第10回	食事・栄養の援助(経管栄養法・HPN)
第11回	経管栄養法の計画立案
第12・13回	経管栄養法①②【演習】
第14回	地域・在宅における援助技術のまとめ
第15回	まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(1)地域・在宅看護の基盤 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(2)地域・在宅看護の実践 医学書院

評価方法: 筆記試験 80点 レポート 20点

地域・在宅看護援助論Ⅲ

対応 DP: 4

履修年次: 3年次前期 単位数: 1 単位 時間数: 15 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: 意思決定支援 ACP エンドオブライフケア グリーフケア

学習目的: 地域で最期まで暮らし続けること支援するための知識を習得し、自身の考えを深める。

到達目標:

1. アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割を理解する
2. 地域・在宅におけるエンドオブライフケアの必要性や意義を理解する
3. エンドオブライフケアについての自身の考えを述べるができる

授業内容:

第1回	地域での生活を支える意思決定支援
第2回	地域におけるエンドオブライフケア
第3回	地域における看取りの実際 <<外部講師>>
第4回	訪問看護におけるエンドオブライフケアの実際 <<外部講師>>
第5回	地域・在宅で最期を迎えるための支援①
第6回	地域・在宅で最期を迎えるための支援②
第7回	地域・在宅で最期を迎えるための支援③
第8回	評価

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論(2) 地域・在宅看護の実践 医学書院

評価方法: 筆記試験 100 点

## 成人看護学概論

対応DP: I

---

履修年次: 1年次 後期                      単位数: 1 単位                      時間数: 30 時間

---

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)

---

Keywords: 成人期の特徴 発達課題 成人期の健康問題 健康状態の特徴

---

学習目的: ライフサイクルにおける成人期の特徴と成人期の健康に影響を及ぼす問題、成人への看護アプローチの基礎について学ぶ。さらに4つの健康状態の特徴を理解し、看護実践を学ぶ上での基盤とする。

---

到達目標: 1. 成人期の特徴と発達課題を理解する  
2. 成人を取り巻く社会や生活の特徴を理解する  
3. 成人期の健康問題について理解する  
4. 4つの健康状態の特徴について理解する

---

授業内容: 第1回      ライフサイクルからみた成人期  
第2回      成人期の発達課題  
第3回      成人を取り巻く環境と生活  
第4回      成人のヘルスケアシステム  
第5回      成人への意思決定支援と看護アプローチ  
第6回      健康をおびやかす状況①  
第7回      健康をおびやかす状況②  
第8回      健康をおびやかす状況③  
第9回      身近な人の健康問題を考える① GW  
第10回     身近な人の健康問題を考える② 発表  
第11回     健康状態の理解①:急性期  
第12回     健康状態の理解②:回復期  
第13回     健康状態の理解③:慢性期  
第14回     健康状態の理解④:終末期  
第15回     まとめ・評価

---

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学(1) 成人看護学総論 医学書院

---

参考図書: 国民衛生の動向 厚生労働統計協会

---

評価方法: 筆記試験 100 点

---

成人看護援助論 I

対応 DP: 3

履修年次: 2年次 前期 単位数: 1 単位 時間数: 30 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: 慢性期看護 生活の再構築 看護過程 学習支援

学習目的: 慢性的な健康状態にある人が疾患と共存しながら、生活を再調整し、再発予防や身体機能の維持・改善ができるよう、意思決定支援やセルフマネジメントに向けた看護について学ぶ。

到達目標: 1. 慢性的な健康状態にある人を理解するための概念を理解できる  
2. 事例をもとに看護過程を展開し、慢性的な健康状態にある人の看護が理解できる  
3. 慢性的な健康状態にある人への学習支援について理解できる

授業内容: 第1回 慢性的な健康障害を持つ対象を理解するための概念  
第2回 肝機能障害のある人の看護①  
第3回 肝機能障害のある人の看護②  
第4回 糖尿病のある人の看護①  
第5回 糖尿病のある人の看護②  
第6回 慢性的な健康状態にある人の看護:看護過程①  
第7回 慢性的な健康状態にある人の看護:看護過程②  
第8回 慢性的な健康状態にある人の看護:看護過程③  
第9回 慢性的な健康状態にある人の看護:看護過程④ 発表会  
第10回 簡易血糖検査【演習】  
第11回 看護における学習支援  
第12回 慢性的な健康状態にある人の学習支援①  
第13回 慢性的な健康状態にある人の学習支援②  
第14回 慢性的な健康状態で在宅療養する人への支援《外部講師》  
第15回 まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学(5) 消化器 医学書院  
系統看護学講座 専門分野 成人看護学(6) 内分泌・代謝 医学書院

参考図書: ナーシング・グラフィカ 成人看護学6 セルフマネジメント メディカ出版

評価方法: 筆記試験 90 点 レポート 10 点

## 成人看護援助論Ⅱ

対応 DP: I

---

履修年次: 2年次 前期                      単位数: 1 単位                      時間数: 30 時間

---

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

---

Keywords: がん看護 リハビリテーション看護 生活の再構築

---

学習目的: がんと共に生きる人を理解し、治療を受ける患者の看護について学習する。また疾患や障がいと共に生きることを支え、QOLの向上や社会復帰に向けた生活の再構築について学ぶ。

---

到達目標:

1. がんと診断された人とその家族の苦痛を知り、価値観や生活を尊重したかかわりの必要性がわかる
2. がんの治療に伴う影響とその苦痛を緩和する看護について理解できる
3. 疾患や障がいと向き合い、自らの生活の再構築をするための支援について理解できる

---

授業内容:

第1回	がんとともに生きる人の看護①
第2回	がんとともに生きる人の看護②
第3回	がんとともに生きる人の看護③
第4回	がんの治療を受ける患者の看護①
第5回	がんの治療を受ける患者の看護②
第6回	がんの治療を受ける患者の看護③
第7回	がんの治療を受ける患者の看護④
第8回	リハビリテーション看護①
第9回	リハビリテーション看護②
第10回	中枢神経系の障害とともに生きる人の看護①
第11回	中枢神経系の障害とともに生きる人の看護②
第12回	中枢神経系の障害とともに生きる人の看護③ <<外部講師>>
第13回	循環器系の障害とともに生きる人の看護①
第14回	循環器系の障害とともに生きる人の看護②
第15回	まとめ・評価

---

テキスト: 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院  
系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院

---

参考図書: ナーシング・グラフィカ 成人看護学6 セルフマネジメント メディカ出版

---

評価方法: 筆記試験 100 点

---

## 成人看護援助論Ⅲ

対応 DP: 3

履修年次: 2年次 後期 単位数: 1 単位 時間数: 30 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: BLS 医療機器の管理 感染予防策 ストーマケア

学習目的: 生命の危機的状況にある人の生命を維持し回復に向けた支援を学習するとともに、事例を通して必要な看護技術を習得する。

到達目標: 1. 急性期および回復期にある人とその家族の特徴を理解し、必要な看護技術を習得できる  
2. 感染予防策を学び、基礎的な能力をみにつけることができる

授業内容: 第1回 クリティカルな状況にある人の看護①  
第2回 クリティカルな状況にある人の看護②  
第3回 クリティカルな状況にある人の看護③  
第4回 院内感染と感染予防策  
第5・6回 救急応援・BLS【演習】  
第7・8回 医療機器の操作と管理:心電図・輸液ポンプ【演習】  
第9・10回 吸引・ネブライザー・体位ドレナージ【演習】  
第11・12回 膀胱留置カテーテルの管理・感染予防策【演習】  
第13・14回 ストーマケア《外部講師》  
第15回 まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院  
系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院

参考図書: ナーシング・グラフィカ 成人看護学6 セルフマネジメント メディカ出版

評価方法: 筆記試験 100 点



成人看護援助論Ⅳ

対応 DP: 3

履修年次: 2年次 後期 単位数: 1 単位 時間数: 30 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)

Keywords: 手術を受ける人の特徴 周手術期看護 生活の再構築

学習目的: 手術を受ける人の特徴と手術や麻酔侵襲から回復に向けた援助、さらに手術による形態・機能の変化に応じた生活の再構築に向けた支援について学ぶ。

到達目標:

1. 手術を受ける人の身体的・精神的・社会的特徴と家族について理解できる
2. 手術侵襲による苦痛緩和や術後合併症予防のための援助について理解できる
3. 周手術期に関連する看護技術を習得できる
4. 形態・機能の変化による生活の再構築に向けた支援について理解できる

授業内容:

第1回	手術を受ける人の理解①
第2回	手術を受ける人の理解②
第3回	手術を受ける人の理解③
第4回	周手術期看護①
第5回	周手術期看護②
第6回	周手術期看護③
第7・8回	術後1日目の観察・ケア【演習】
第9・10回	離床に向けた援助【演習】
第11回	生活の再構築に向けた支援①
第12回	生活の再構築に向けた支援②
第13回	生活の再構築に向けた支援③
第14回	生活の再構築に向けた支援④【演習】
第15回	まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 成人看護学(5) 消化器 医学書院

参考図書: 周手術期看護1 外来/病棟における術前看護 医歯薬出版  
 周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護 医歯薬出版

評価方法: 筆記試験 100点

成人看護援助論V

対応 DP: I

履修年次: 3年次 前期 単位数: 1 単位 時間数: 30 時間

担当教員: 本校専任教員(看護師としての実務経験5年以上)、外部講師

Keywords: エンドオブライフケア アドバンスケアプランニング 意思決定支援

学習目的: 病院における人生の最期のときの問題に直面している人とその家族の苦悩に寄り添い、最期までよりよく生きるためのエンドオブライフケアについて学ぶ。

到達目標:

1. エンドオブライフケアを受ける人とその家族の苦悩について理解できる
2. エンドオブライフケアを受ける人の尊厳を守り、全人的苦痛を緩和するケアや家族の支援について理解できる
3. エンドオブライフケアにおける意思決定支援とチームアプローチの必要性がわかる

授業内容:

第1回	エンドオブライフケア概論
第2回	倫理的課題
第3回	意思決定支援・チームアプローチ
第4回	身体的ケア
第5回	精神的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア
第6回	臨死期のケア・家族ケア
第7・8回	エンドオブライフケア GW
第9・10回	エンドオブライフケア 発表
第11回	エンドオブライフケアの実際①《外部講師》
第12回	エンドオブライフケアの実際②
第13・14回	遺族の立場から《外部講師》
第15回	まとめ・評価

テキスト: 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院

参考図書: 経過別成人看護学④終末期看護:エンド・オブ・ライフ・ケア メヂカルフレンド社

評価方法: 筆記試験 100点